

I 調査の概要

1 調査目的 食育に対する国民の意識を把握し、今後の食育推進施策の参考とする。

2 調査項目 (1) 食育への関心
 (2) 現在の食生活
 (3) 共食や孤食の状況
 (4) 小学生の頃、中学生の頃、16歳から18歳の頃の食生活
 (5) 生活習慣病の予防や改善に関する食意識や実践
 (6) 食品の安全性
 (7) 食文化の継承及び伝承
 (8) 農林漁業体験への参加や環境への配慮

3 調査対象 (1) 母集団 全国20歳以上の者
 (2) 標本数 3,000人
 (3) 抽出方法 層化2段無作為抽出法

4 調査時期 令和元年10月4日～10月27日

5 調査方法 調査員による個別面接聴取

6 調査実施委託機関 一般社団法人 中央調査社

7 回収結果 (1) 有効回収数(率) 1,721人(57.4%)
 (2) 調査不能数(率) 1,279人(42.6%)
 —不能内訳—
 転居 137 長期不在 81 一時不在 396
 住所不明 25 拒否 560 その他 80
 (病気など)

8 性・年齢別回収結果

性・年齢		標本数	回収数	回収率	性・年齢		標本数	回収数	回収率
				%					%
男	20～29歳	157	63	40.1	女	20～29歳	157	77	49.0
	30～39歳	210	99	47.1		30～39歳	198	118	59.6
性	40～49歳	272	138	50.7	40～49歳	255	152	59.6	
	50～59歳	236	109	46.2	性	50～59歳	224	158	70.5
	60～69歳	236	145	61.4	60～69歳	258	178	69.0	
	70歳以上	339	205	60.5	70歳以上	458	279	60.9	
	計	1,450	759	52.3	計	1,550	962	62.1	